

(2) 不登校について考える 6つのポイント

② 要因は何か？

大きく**3つの要因**が考えられます。

1つ目は、**本人の要因**です。

過敏さや不安、発達の偏りを抱えている場合があります。この場合は、集団生活になじめず、適応しようとしてエネルギーを消耗し、欠席につながっていきます。

2つ目は、**学校の要因**です。

同級生や異学年とのもめごとや教員との関係、学習の理解、部活動への適応など、学校という集団生活での様々な出来事や人間関係が要因になることがあります。

この中で、最近特に多くなってきたものが、学習へのつまずきです。学校生活の大部分は授業時間が占めており、そこで勉強が分からなくなれば、学校生活が苦痛になることは想像できます。勉強に自信をもって頑張っていた子が、成績が不振や受験失敗などで挫折感をもって不登校につながることも見られています。個人差はありますが、本格的に学習が始まる**小学校1年生の2学期**、概念的な学びが入ってくる**小学校4年生**、英語や数学といった高度な学習を求められる**中学校1年生**あたりからつまずきの表れが見られます。

3つ目は、**家庭の要因**です。

引っ越しや弟妹の誕生等の**家庭環境の急激な変化**や、慢性的な両親の不仲や嫁姑問題等の**家族内の諸問題**が、子供に大きなダメージを与え、不登校につながる場合があります。また、最近では、小学校低学年において、**保護者（特に母親）と離れることに大きな不安**を抱える子供が目立っています。